

大垣市第四次障害者計画及び大垣市第 6 期障害福祉計画・

第 2 期障害児福祉計画のアンケートについて

1 調査の目的

生活実態、サービスの利用状況、今後の取り組み等、障がいのある人の意向等を把握し、計画の策定に関する基礎資料とする。

2 調査の方法

(1) 実施期間

令和元年 10 月～11 月頃

(2) 調査方法・対象者

市内に居住する、障がいのある人や、18 歳以上の障がいのない人を対象に、無作為抽出、郵送による配布・回収を行う。

(配布予定数)

障がい者 2,000 人 (身体 1,300、知的 250、精神 250、難病 200)

障がい児 200 人 (障がい児 100、発達障がい 100)

一般 1,000 人

3 アンケートの設問

以下の前回 (平成 28 年 3 月) 実施時の設問項目を基本に、次期計画の基本方針や県の動向を踏まえて、設問を検討する。

(1) 障がいのある人

本人及び支援者の年齢と介助状況、暮らしの場と生計状況、障がいのある人への差別や偏見と権利擁護、外出状況と必要な支援、医療機関の受診、就労・就学の状況、災害時の緊急対策、障害福祉サービスの利用、今後の市の取り組み

(2) 一般市民

障がいのある人との交流と支援、障がいや障がいのある人への理解と行動、障がいのある人への差別や偏見、地域での自立生活に必要な支援

4 集計方法

設問ごとの単純集計と、障がい別や年齢別等のクロス集計を併用